

## 合唱練習における新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について

交声曲「海道東征」合唱組曲「筑後川」演奏会に向けての練習再開に当たり、下記の内容において感染拡大防止の対策を実施しますので、合唱団員の皆様におかれましては、十分留意の上、出席願います。

### 記

#### 1 日常の健康管理等の対策

##### (1) 体調の管理

- ア 体調が悪いときは、出席を控える。
  - ・ 普段よりも体温が高い。(特に37.5度以上あるときは、出席しない。)
  - ・ 風邪のような症状がある。(咳、のどの痛み、だるさ など)
- イ 感染した人との濃厚接触の可能性がある場合は、出席しない。
- ウ 練習会に出席するに当たっては、自宅等において各自が検温し、会場入場時に報告する。

##### (2) 名簿の提出

感染が疑われる団員が出た場合のため、練習に出席する団員の氏名及び緊急連絡先等の名簿を作成します。

#### 2 練習当日の対策

##### (1) 会場入場時

- ア 入場時は、密集しないように余裕をもって来場し、できるだけ分散して入場する。
- イ マスクは、必ず着用する。
- ウ 入場前には、石鹸で手洗をし、消毒剤による手指消毒をする。
- エ 出席者は、会場入口の出席名簿に必ず○を付け、その下に検温してきた体温を記入する。
- オ 人との間隔は、1 m程度離れ、会話はなるべく控える。

##### (2) 練習時

- ア 団員間の距離は、前後2 m程度、左右1 m程度を確保し、向かい合う配置は避ける。
- イ 指揮者、伴奏者とは、十分な距離(2 m以上)を確保する。
- ウ 指揮者、伴奏者、事務局担当者等は、飛沫拡散防止のためマスクやフェイスシールド等を着用する。
- エ 団員も飛沫拡散防止のため、原則、マスクを着用する。  
(なお、マスクについては、東京混声合唱団が製作した合唱用マスク「歌えるマスク」を推奨いたします。1枚：約1,500円)
- オ 30分に1回、窓・ドア等を開け、5分間程度の換気をする。

### (3) 休憩時

- ア マスクは、必ず着用する。
- イ 休憩時にも、石鹼で手洗をし、消毒剤による手指消毒をする。
- ウ 人との間隔は、1 m程度離れ、会話はなるべく控える。

### (4) 練習後

- ア マスクは、必ず着用する。
- イ 退場時は、密集を避け、できるだけ分散して退場する。
- ウ 退場後も、石鹼で手洗をし、消毒剤による手指消毒をする。